

いわて八幡平白銀国体 式典・大会運営等業務

業 務 仕 様 書

令和4年4月

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会岩手県実行委員会

この「業務仕様書」（以下「仕様書」という。）は、特別国民体育大会冬季大会スキー競技会岩手県実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する「いわて八幡平白銀国体式典・大会運営等業務」（以下「本業務」という。）に係る委託候補者の選定に関し、実行委員会が契約する事業者（以下「受託者」という。）に要求する本業務の概要や仕様等を明らかにし、企画コンペに参加しようとする者（以下「参加者」という。）の提案に具体的な指針を示すものである。

※ 「いわて八幡平白銀国体」は、特別国民体育大会冬季大会スキー競技会の大会愛称である。

1 業務名称

いわて八幡平白銀国体式典・大会運営等業務

2 本業務の目的

- (1) いわて八幡平白銀国体への**興味・関心の向上**
- (2) いわて八幡平白銀国体に向けた**県民参加機運の醸成**
- (3) いわて八幡平白銀国体の選手、関係者等に対する**歓迎感の創出**
- (4) いわて八幡平白銀国体を通じた**スポーツを楽しむ機運の醸成**

3 委託期間

契約締結の日から令和5年3月17日(金)まで

4 予算額

58,557千円以内（税込）

5 いわて八幡平白銀国体の概要

開催時期	令和5（2023）年2月17日（金）～20日（月）
大会名称	特別国民体育大会冬季大会スキー競技会
大会愛称	いわて八幡平白銀国体
スローガン	白銀に 映えるみんなの 夢・未来
会 期	競技会4日間（初日に開始式）
会 場	八幡平市（矢神飛躍台、田山クロスカントリーコース、安比高原スキー場）
実施競技	ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、クロスカントリー、コンバインド
参加資格	開催年度において中学3年生以上の選手
参加人員	選手・監督等：約1,800人

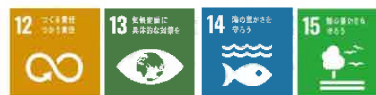
※ 詳細は岩手県HPを参照のこと

岩手県HP：<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/sports/1041434/index.html>

6 本業務の内容

本業務の内容は、次のとおり。

なお、業務の企画にあたっては、「環境に配慮した大会」に向けた取り組みを盛り込むこと。



(1) 式典（開始式・表彰式）の企画・運営・管理

次により業務を行うこと。

①開催日

開始式：令和5年2月17日(金) 14:00～16:14 ※時間は予定

表彰式：令和5年2月20日(月) 15:00～16:38 ※時間は予定

②会場

八幡平市総合運動公園体育館

③内容

式典の開催に向けての企画・調整及び当日の運営・管理を行うこと。

(詳細は「別紙Ⅰ」のとおり)

(2) 大会実施本部等の設営

大会実施本部、プレスセンター、記録本部の設営を行うこと。

(詳細は「別紙Ⅱ」のとおり)

(3) 競技会運営物品の作製

スタッフやボランティアが着用するユニホームやコーステープのデザイン、大会プログラム等を企画し作製すること。

(詳細は「別紙Ⅲ」のとおり)

(4) 大会開幕100日前イベントの企画・運営・管理

次により業務を行うこと。

①開催日 令和4年11月中旬(予定) ※100日前当日は11月9日(水)

②会場 盛岡市内(想定)

③業務内容 イベント開催に向けての企画・調整及び当日の運営・管理

④留意事項 より多くの県民及び八幡平市民の参画機会となるようなイベント内容とすること。

⑤その他 仕様書別紙「V都市装飾物品の作製・設置」2(4)県庁前カウンタダウンボードの設置(張替え)にあたり、お披露目セレモニー(9月下旬頃)の企画・運営及び管理を行うこと。

(詳細は「別紙Ⅳ」のとおり)

(5) 都市装飾物品の作製・設置

会場地となる八幡平市及び県内に設置する都市装飾物品の作製、設置、管理及び撤去を行うこと。

(詳細は「別紙Ⅴ」のとおり)

(6) 歓迎・おもてなしの企画・実施

次により業務を行うこと。

① 大会に参加する各都道府県選手団の歓迎・応援に資する物品(大会リーフレットや記念ノベルティ等)のデザイン等を企画し作製を行うこと。

② 各競技会場において、本県を訪れる人々に対して「復興支援への感謝」「復興の歩み」「復興の姿」を伝えながら、震災記憶の風化防止に寄与するような復興情報の発信に関する企画・運営・管理を行うこと。

③ 大会報告書を制作すること。

(詳細は「別紙Ⅵ」のとおり)

(7) 広報の企画・実施

次により業務を行うこと。

- ① テレビ、ラジオ、新聞その他媒体を活用した広報を企画し、運営及び管理を行うこと。
- ② 大会に関連するポスター及びチラシの企画・制作・配布を行うこと。
(詳細は「別紙Ⅶ」のとおり)

(8) その他

以上に掲げる業務のほか「2」に掲げる目的を達成するための取組について、企画、運営、管理を行うこと。ただし、予算の範囲内で実施可能となる取組に限る。

7 留意事項

- (1) 事業が完了した時は、速やかに事業完了報告書（別途様式を指定）を作成し、関係書類（別途指示する。）を添えて実行委員会へ提出すること。
- (2) 受託者は、委託業務を誠実に遂行するものとし、本業務の準備あるいは実施に際して、随時、実行委員会と協議すること。
- (3) 契約に際しては、企画提案の内容及びその後の協議に応じて仕様を変更することがあること。

8 契約に関する条件等

- (1) 再委託等の制限
 - ① 受託者は、本業務の全部を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
 - ② 受託者は、本業務の一部を第三者に委託することができる。この場合、事前に再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、再委託先に対する管理方法等必要事項を実行委員会に対して書面で報告しなければならない。
- (2) 業務履行に係る関係人に関する措置要求
 - ① 実行委員会は、本業務の履行につき、著しく不相当と認められるときは、受託者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。
 - ② 実行委員会は、(1)②により受託者から委託を受けた者で本業務の履行につき著しく不相当と認められるときは、受託者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。
 - ③ 受託者は、①あるいは②による請求があったときは、当該請求に係る事項について必要な措置を講じ、その結果を、請求を受けた日から10日以内に、実行委員会に対して書面で提出しなければならない。
- (3) 機密の保持
受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者に開示、漏えいしてはならない。契約終了後もまた同様である。
- (4) 個人情報の保護
受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う場合は、個人情報保護条例（平成13年10月1日岩手県条例第7号）を遵守しなければならない。

I 式典（開始式・表彰式）の企画・運営・管理

1 式典（開始式・表彰式）の概要

(1) 式典基本方針 (R3. 11. 18第1回総務委員会決定)

ア 基本方針

特別国体冬季大会スキー競技会「いわて八幡平白銀国体」における開始式及び表彰式は、大会開催基本方針に基づき、簡素で効率的な実施に努めながらも、復興の姿や本県の魅力を全国に発信する機会となるよう創意工夫を凝らした式典とする。

イ 式典の内容

- ① 心のこもった岩手らしい「おもてなし」により、出会いと交流の輪を広げる式典とする。
- ② 美しく雄大な自然や、歴史、文化、産業及び食など、岩手の魅力を発信する式典とする。

(2) 式典の実施概要

ア 開始式

- ① 日 程 令和5年2月17日(金)
- ② 会 場 八幡平市総合運動公園体育館
(1Fアリーナ43.0m×39.0m、ステージ19.5m×9.2m、2F観覧席400席)
- ③ 内 容

順	次第	時刻(予定)	演出(想定)
1	開場	14:00	・映像放映
2	役員・選手団集合開始	14:15	本県の魅力発信
3	役員・選手団着席完了	14:49	大会の紹介 等
4	歓迎アトラクション	14:50	・ステージ式典 ・映像放映 復興支援への感謝 選手への歓迎 等
5	参加都道府県旗入場・選手団紹介	15:15	・吹奏楽BGM ・都道府県応援団 (2F観客席からの地元小学生による集団応援)
6	開式通告	15:40	
7	競技会開始宣言	15:41	・ファンファーレ
8	国旗儀礼	15:44	・生演奏(国歌)
9	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼	15:46	・生演奏(若い力)
10	大会会長トロフィー返還	15:48	・ファンファーレ
11	日本スポーツ協会あいさつ	15:52	
12	スポーツ庁あいさつ	15:55	
13	中央競技団体あいさつ	15:58	
14	歓迎のことば	16:01	
15	選手代表宣誓	16:10	・ファンファーレ
16	閉式通告	16:13	
17	役員・選手団解散	16:14	・生演奏(退場)

※ 次第については、(公財)日本スポーツ協会が主催する会議(国民体育大会委員会)に提案し承認のうえ決定されるが、例年、上記のスケジュールで開催されているもの。

④ 会場レイアウト案

(別冊)「いわて八幡平白銀国体式典・大会実施本部等関連図書」のとおり

⑤ 想定参加者数 約2,000名 ※2016年希望郷いわて国体実績
[内訳]

			参加者数	
1	選手団	選手・監督等	493	
		小 計	493	
2	大会関係者	大会役員	式典ステージ登壇者含む	110
		競技会役員	式典ステージ登壇者含む	63
		組織委員	式典ステージ登壇者含む	9
		式典・演技出演者	歓迎アトラクション出演者、式典音楽隊、司会者、式典補助員等	192
		実施本部員	県職員等	235
		ボランティア	運営ボランティア	10
		その他大会協力者	業務員(警備員、式典業者、出展者、医師・看護師等)等	218
小 計		837		
3	観覧者	招待者	式典ステージ登壇者含む	112
		一般観覧者		217
		都道府県応援団		205
		報道員		94
		視察員		29
		小 計		657
合 計			1,987	

イ 表彰式

- ① 日 程 令和5年2月20日(月)
② 会 場 八幡平市総合運動公園体育館
③ 内 容

順	次第	時刻(予定)
1	開場	15:00
2	役員・選手団集合開始	15:30
3	役員・選手団着席完了	15:59
4	開式通告	16:00
5	成績発表	16:01
6	表彰状授与	16:09
7	大会会長トロフィー授与	16:25
8	中央競技団体あいさつ	16:28
9	会場地あいさつ	16:31
10	国旗儀礼	16:34
11	競技会終了宣言	16:36
12	閉式通告	16:37
13	役員・選手団解散	16:38

※ 次第については、(公財)日本スポーツ協会が主催する会議(国民体育大会委員会)に提案し承認のうえ決定されるが、例年、上記のスケジュールで開催されているもの。

④ 会場レイアウト案

(別冊)「いわて八幡平白銀国体式典・大会実施本部等関連図書」のとおり

⑤ 想定参加者数 約540名 ※2016年希望郷いわて国体実績

[内訳]

			参加者数
1	選手団	選手・監督等	102
		小 計	102
2	大会関係者	大会役員	式典ステージ登壇者含む 32
		競技会役員	式典ステージ登壇者含む 39
		組織委員	式典ステージ登壇者含む 6
		式典・演技出演者	司会者 2
		実施本部員	県職員等 173
		ボランティア	運営ボランティア 0
		その他大会協力者	業務員（警備員、式典業者、医師・看護師等）等 62
		小 計	314
3	観覧者	招待者	40
		一般観覧者	33
		報道員	37
		視察員	10
		小 計	120
合 計			536

2 式典（開始式・表彰式）の企画・運営・管理

共通

(1) 企画、運営及び管理

- ア 式典全体の内容を企画し、実行委員会と協議のうえ決定すること。
- イ 式典の全体に係る総合管理及び運営を行うこと。

(2) 会場の設営、装飾及び撤去

- ア 2016年に同会場で開催した「希望郷いわて国体冬季大会スキー競技会」のレイアウトを基本に、式典基本方針「イ式典の内容」を具現化する式典となるよう、会場のレイアウト、デザイン及びディスプレイ、飾花等を工夫すること。
また、式典のために来場した選手団、大会関係者、観覧者（以下、「来場者」という。）は、全て土足可能とすること。
- イ 観覧席の最後方からでも、映像の内容を確実に視認できるサイズの映像放映設備を設置すること。
- ウ 手話通訳の配置、車椅子用観覧スペースの確保等、会場のバリアフリーに十分に配慮すること。
- エ 各競技会場での式典ライブ放映を実施すること。
なお、放映用の撮影は（公財）日本スポーツ協会が行い、「国体チャンネル」としてインターネットライブ配信する予定であること。
- オ 式典のために来場した来場者が容易に会場内配置を把握できるよう、表示を行うこと。
- カ 実施に必要な什器、備品及び消耗品の調達を行うこと。
- キ 出展ブースの電気、給排水設備等の設置及び付帯するその他の工事等について関係団体等と調整を行うこと。
- ク 会場使用に伴う安全確保義務を遵守すること。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

- （公財）日本スポーツ協会及び岩手県が定めるガイドライン等に基づき、必要に応じ、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講ずること。

(4) 医療救護・会場警備の実施

- ア 来場者に対する医療救護を行うこと。
- イ 来場者の安全を守り、式典を円滑に運営するために必要な警備を行うこと。

(5) 式典保険への加入

- 来場者の怪我や事故等が発生した場合や悪天候等により設置物の撤去・再設営が発生した場合に備え、必要となる損害賠償保険の加入など、式典全体に係る補償対策を講ずること。

(6) 来場者の輸送・交通業務

- 開始式及び表彰式を安全かつ円滑に開催するため、来場者の利便性を検討し、周辺道路及び駐車場の交通誘導を実施するとともに、必要に応じて、主要駅からのシャトルバスの運行やパーク&ライド等を検討すること。
また、実行委員会と協議のうえ、駐車証等の製作及び配付をすること。

(7) 記録

- 実行委員会の指示により、本業務の実施状況について、広報・記録用の写真及びムービーを撮影すること。

(8) 関係団体等との調整

- 実施に際して必要となる会場管理者ほか関係団体等との調整を行うこと。

開始式のみ

(9) 歓迎アトラクションの実施

ア 本業務の目的を達成しながら、式典基本方針「イ式典の内容」に掲げる考え方も踏まえ、「歓迎アトラクション」を企画し、出演者の選定及び調整等を行い、効果的かつ円滑に実施すること。

また、「歓迎アトラクション」の演出として、「本県の魅力の発信」、「復興支援への感謝」、「選手団への歓迎感」を創出する映像を作製、放映すること。

イ ステージゲストとして、郷土芸能やチアリーディング、吹奏楽、ダンス等のステージ出演団体を招聘すること。その際、県内児童生徒、地元団体及び障がい者関係団体の起用を積極的に検討すること。

ウ 歓迎アトラクションに加え、セレモニーにおけるファンファーレ、国家等斉唱等において生演奏する吹奏楽隊は必ず配置すること。

(10) おもてなしブースの設置

本業務の目的を達成しながら、式典基本方針「イ式典の内容」に掲げる考え方も踏まえ、当日の式典の盛り上がり要充分寄与するような、会場内外での出展及びおふるまいを企画するとともに、効果的かつ円滑に実施すること。

(11) 地元小中学生による「都道府県応援団」の実施

「参加都道府県旗入場・選手団紹介」時に、スタンド席から各都道府県名やメッセージが書かれた横断幕を振り、スティックバルーン等の鳴り物を使い選手団へ声援を送る「都道府県応援団」を企画・管理・運営すること。ただし、地元小中学校との出演調整は実行委員会が行う。

(12) 一般観覧者の事前申込の実施

一般観覧者は事前申込制とすることから、広報、申込受付、とりまとめ、データ管理等をはじめとする必要な業務を行うこと。

表彰式のみ

(13) 表彰状等の作製

表彰式で授与する表彰状及び表彰状ケースを作製すること。

[表彰状のイメージ]



[表彰状ケースのイメージ]



以上に掲げる業務のほか、本催事の実施に関し必要な業務を行うこと。

Ⅱ 大会実施本部等の設営

1 県現地実施本部、県記録本部及びプレスセンターの設営

(1) 目的

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会の県現地実施本部、県記録本部及びプレスセンター（以下「大会実施本部等」という。）を設営すること。

(2) 設営場所

名称	住所	設営場所
県現地実施本部	八幡平市叭田 70	大会議室
県記録本部	八幡平市安代総合支所内	(123.5 m ²)
プレスセンター	八幡平市叭田 70	八幡平市安代地区体育館

(3) 業務概要

- ア 大会実施本部に必要な備品の調達及び設置
- イ 大会実施本部に必要な OA 機器の調達、設置及び設定
- ウ OA 機器及びプレスセンター利用者の持込機器のための電気・通信設備の設置
- エ 備品、OA 機器及び電気・通信設備の保守管理
- オ ア～エで設置したものの撤去及び原状回復

(4) 業務スケジュール（予定）

日程	2月8日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	
	(月)	～	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
設営施設							公式練習 開始式	競技日	競技日	競技日 表彰式		
県実施本部 (八幡平市 安代総合支所)	仮設工事 備品等設営	→ 完了	実施本 部設置	動作 テスト	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	撤去作業	撤去作業	
					新聞設置	新聞設置						
県記録本部 (八幡平市 安代総合支所)	仮設工事 備品等設営	→ 完了	記録本 部設置	動作 テスト	動作テスト	稼働	稼働	稼働	稼働	撤去作業	撤去作業	
					新聞設置	新聞設置						
						保守管理担当者配置						
プレスセンター (八幡平市 安代地区体育 館)	仮設工事 備品等設営	→ 完了	プレスセ ンター 設置	動作 テスト	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	撤去作業	撤去作業	
					新聞設置	新聞設置						

(5) 備品の設置等

- ア 施設備品の移動、設置及び必要な備品の調達、設置（施設備品の使用料は不要）を行うこと。
- イ 設置備品一覧及び配置については（別冊）「いわて八幡平白銀国体式典・大会実施本部等関連図書」のとおりとする。
- ウ 受託者は、設置する備品に係る資料を事前に提出し、実行委員会の了承を得ること。

(6) OA 機器の設置等

- ア OA 機器が使用可能な状態になるよう、必要な設備の設置、配線、設定を行うこと。利用者の動線の床面に配線を行う場合は、養生を施すこと。
- イ 配置は、（別冊）「いわて八幡平白銀国体式典・大会実施本部等関連図書」のとおりとする。
- ウ 受託者は、設置する機器に係る資料を事前に提出し、実行委員会の承認を得ること。
- エ カラー・モノクロ複合機の使用による使用料金（カウント料）は、モノクロ 20,000 枚、カラー1,000 枚までは委託料に含め、超過分については、使用実績により支払うもの。

オ トナー及びインクは、あらかじめ当該機器にセットしておき、交換用の予備1本を準備する。トナー及びインクは委託料に含める。

(7) 電気・通信設備の設置等

ア 上記(6)により設置したOA機器及びプレスセンター利用者が持ち込む機器(ノートパソコン、プリンタ等)を使用するために必要な電気設備(配線、分電盤、電源コンセント等)及び通信設備の設置とそれに伴う必要となる工事一式を行うこと。

イ 電気・通信設備の仕様は、(別冊)「いわて八幡平白銀国体式典・大会実施本部等関連図書」のとおりとする。

ウ 電源コンセントは、机上に設置すること。

エ 利用者の動線にあたる箇所の床面に配線を行う場合は、養生を行うこと。

オ 仮設通信の契約手続きに関する代行業務を行うこと。なお、基本料、通話料及び通信料については、実行委員会が直接、契約先に支払うこと。

(8) 保守管理業務

ア 受託者は、OA機器及び電気設備等の故障に対応する担当者1名を会場に配置(県記録本部に常駐)し、正常な状態で使用できなくなった場合、実行委員会の指示により修理等を行い、速やかに正常な状態に回復させること。

イ 保守管理の担当者の配置時間は、次のとおりとする。

令和5年2月15日(水)～2月20日(月)午前8時から業務終了まで(21時頃)

ウ 令和5年2月16日(木)～2月20日(月)の使用期間中、県現地実施本部及び県記録本部及びプレスセンター内で発生した廃棄物を適切に収集・処理すること。

(9) 備品等の撤去及び原状回復業務

備品等の撤去及び清掃を行い、当該会場を原状回復すること。

(10) 新型コロナウイルス感染症対策

(公財)日本スポーツ協会や岩手県が定めるガイドライン等に基づき、必要に応じ、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講ずること。

(11) その他

受託者は、請負業者賠償責任保険、施設賠償責任保険、動産総合保険、労働災害保険その他必要な保険に加入すること。

2 報道員用ビブスの作製

(1) 目的

式典(開始式及び表彰式)等において、報道員が着用するビブスのデザイン等を企画し作製すること。

(2) 製作物及び数量

報道用ビブス 200枚

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

報道用ビブスは、ジップアップタイプとし、表面及び背面に「PRESS」のプリントを入れること。また、サイズは、フリーサイズとすること。

(4) 納品

ア 納期 令和5年1月11日(水)

イ 場所 実行委員会事務局

※ 詳細な場所及び数量(仕分け)については、実行委員会にて調整のうえ、追って指示する。

Ⅲ 競技会運営物品の作製

1 スタッフユニホームの作製

(1) 目的

式典（開始式及び表彰式）等において、スタッフやボランティアが着用する服装を統一し、一体感のある大会運営及びおもてなしを実施するため、ユニホームを作製すること。

(2) 製作物及び数量

防寒ハーフコート（スキーポンチョ） 120 着

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

ア 会場の気候や屋外での使用を鑑み、頑丈かつ耐水・保温・発熱・吸湿・速乾機能に優れ、大会関係者であることが判別しやすい「いわて八幡平白銀国体」をイメージしたデザインとすること。

なお、デザインは、受託者決定後に実行委員会と調整の上決定すること。

イ セーター等の上から着用できる長袖タイプとし、IDカードポケット及び収納ポケットを取り付けること。

ウ 色は、参加者（実施本部員、ボランティア、式典出演者を想定）の区分が判別できるよう、参加者毎の服飾に対して、3種類以上の配色とすること。

エ 「いわて八幡平白銀国体」のロゴマーク（色指定なし）を服飾に2個所以上に取付（プリント可）すること。

【ロゴ】 **いわて八幡平 白銀国体**

オ サイズは4種類以上（概ねS、M、L、LL）とすること。

【参考品番】

品名	メーカー	品番
防寒ハーフコート	ミズノ	Z2JP988800

(3) 納品

ア 納期 令和4年10月31日（月）

イ 場所 実行委員会事務局

※ 詳細な場所及び数量（仕分け）については、実行委員会にて調整のうえ、追って指示する。

2 IDカードの作製

(1) 目的

式典（開始式及び表彰式）等において、大会役員、招待者、スタッフ及びボランティアの参加区分を識別するため、IDカードのデザイン等を企画し作製すること。

(2) 製作物及び数量

IDカード（IDカードフォルダー含む） 1,000枚（4種類×各250セット）

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

ア 規格

品名	大きさ	その他
IDカード	148×100 mm	片面カラー マットポスト 153K
IDカードフォルダー	ハガキサイズ	紐付き

イ 校正

2回

ウ その他

本件印刷物に係る著作権の一切は発注者に帰属するもの。

(4) 納品

- ア 納期 令和5年1月11日(水)
イ 場所 実行委員会事務局

3 コーステープの作製

(1) 目的

式典(開始式及び表彰式)等において、誘導動線や立入規制、フィジカルディスタ
ンス確保などに使用するため、大会オリジナルのコーステープのデザイン等を企画し
作製すること。

(2) 製作物及び数量

コーステープ 100M×50個 片面オリジナル、1巻100m

(3) 納品

- ア 納期 令和4年10月11日(火)
イ 場所 実行委員会事務局

4 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会競技会実施要項の印刷、製本及び発送

(1) 目的

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会実施要項を印刷、製本及び発送すること。

(2) 数量

1,000部

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

ア 規格

大きさ	刷色	使用材料	仕立
A4版 表紙4頁 + 本文28頁程度	表紙：両面印刷(表面：4 色、裏面：黒色) 本文：黒色	表紙：上質紙95.5K 本文：上質紙35K	アジロ製本

イ 校正

- ① 文字校正 2回
② 色校正 1回(色校正は表紙のみ)

ウ その他

- ① 原稿は提供する原稿データ(W o r d及びE x c e l等)により版下を作成す
ること。
② 本件印刷物に係る著作権の一切は発注者に帰属するもの。

(4) 納品

- ア 納期 令和4年10月3日(月)
イ 場所

送付先	部数	送付先	部数
①日本スポーツ協会 (1)	100	⑧都道府県体育協会(46×2)	92
②文部科学省 (1)	20	⑨報道機関 (100)	100
③全日本スキー連盟 (1)	40	⑩県実行委員会関係	150
④県体育協会 (1)	60	⑪県庁・出先等機関	150
⑤県スキー連盟 (1)	75	⑫組織委員会 (23)	23
⑥会場地市 (1)	75	⑬後催県・予備	21
⑦都道府県(47×2) (46)	94	合計	1,000

※ 詳細な場所及び数量(仕分け)については、実行委員会にて調整のうえ、追
って指示する。

ウ 成果品

- ① 成果品として、印刷物、ホームページで公開可能な電子データを納品すること。
- ② 電子データには版下を含み、ディスクメディアにより納品すること。
- ③ Word形式とPDFファイル形式のデータをそれぞれ納品すること。

5 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会プログラムの印刷、製本及び発送

(1) 目的

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会プログラムを印刷、製本及び発送すること。

(2) 数量

1,000部

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

ア 規格

大きさ	刷色	使用材料	仕立
A4版 本文214頁程度 (カラー14ページ含む)	表紙：カラー4色 裏表紙：カラー4色 広告：カラー4色、モノクロ 本文：黒色、カラー4色	表紙：コート紙93.5K 本文：上質紙35K 本文の内、下の競技ごとに色を変えて識別できるようにする。(各4色) Gスラローム 約20頁 ジャンプ 約10頁 コンバイント 約10頁 Cカントリー 約20頁	アジロ製本

イ 校正

- ① 文字校正 2回
- ② 色校正 2回

ウ その他

- ① 原稿をもとに、ページ割、本文へのイラスト等挿入、文字デザイン、罫表の作成、地図デザインの作成等の作業を行うこと。

【参考】※先催県のプログラムの内容より

- ・ 罫表各200点程度(増減あり)内：版下入稿分150点程度
- ・ 競技会場施設等周辺図の地図デザインは、各10点程度(図案は発注者から提供し、点数は多少の増減あり)
- ・ 写真データ各10点~15点(切り抜き必要)

- ② 本件印刷物に係る著作権の一切は発注者に帰属するもの。

(4) 納品

ア 納期 令和5年2月10日(金)

イ 場所

送付先	部数	送付先	部数
日本スポーツ協会 (1)	10	都道府県体育協会 (46×2)	92
文部科学省 (1)	10	報道機関 (100)	100
全日本スキー連盟 (1)	10	県実行委員会関係	100
県体育協会 (1)	350	県庁・出先等機関	50
県スキー連盟 (1)	47	組織委員会 (23)	100
会場地市 (1)	47	後催県・予備	37
都道府県 (47×2) (46)	47	合計	1,000

※ 詳細な場所及び数量(仕分け)については、実行委員会にて調整のうえ、追って指示する。

ウ 成果品

- ① 成果品として、電子データを納品すること。
- ② 電子データには版下を含み、ディスクメディアにより納品すること。
- ③ Word形式とPDFファイル形式のデータをそれぞれ納品すること。

6 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会大会報告書の印刷及び製本

(1) 目的

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会大会報告書を印刷及び製本すること。

(2) 数量

800部

※ 数量は、変更する場合があること。

(3) 仕様

ア 規格

大きさ	刷色	使用材料	仕立
A4版 本文100頁程度 (カラー16ページ含む)	本文1色84ページ+カラー16ページ	表紙：コート紙93.5K 本文：上質紙35K コート62.5K	アジロ製本、 1色刷84ページダイレ クト

イ 校正

- ・ 文字校正 2回
- ・ 色校正 1回

ウ その他

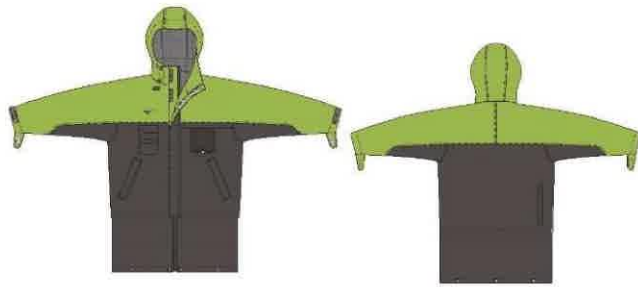
- ・ 原稿をもとに、ページ割、本文へのイラスト等及び写真（撮影含む）挿入等の作成の作業を行うこと。
- ・ 本件印刷物に係る著作権の一切は発注者に帰属するもの。

(4) 納品

ア 納期 令和5年3月13日（月）

イ 場所 実行委員会事務局

[スキーポンチョのイメージ]



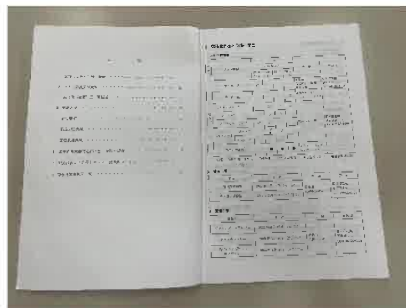
[IDカードのイメージ]



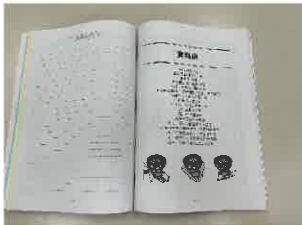
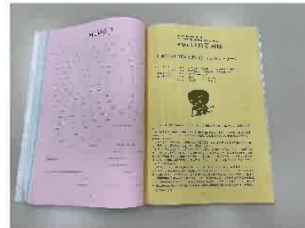
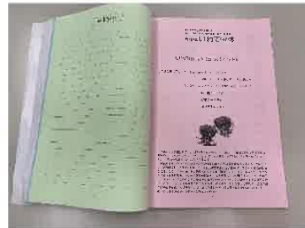
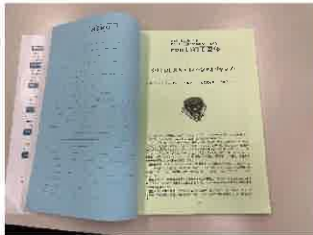
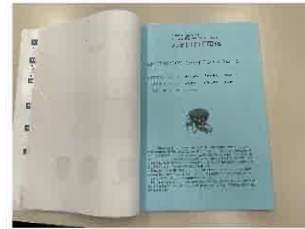
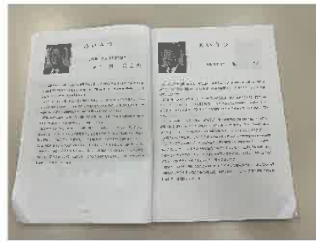
[コーステープのイメージ]



[大会実施要項のイメージ]



[競技会プログラムのイメージ]



[大会報告書のイメージ]



Ⅳ 大会開幕100日前イベントの企画・運営・管理

1 目的

- (1) 大会に向けた県民の参画機運の醸成
- (2) オール岩手でのおもてなし機運の醸成

2 イベント概要

- (1) 開催日 令和4年11月中旬(予定) ※100日前当日は11月9日(水)
- (2) 会場 盛岡市内(想定)
- (3) 想定している内容
ア より多くの県民、八幡平市民が参加できるイベント
イ 知事、八幡平市長によるセレモニーもイベントの一環として想定

3 企画、運営及び管理

- (1) イベント全体の内容を企画し、実行委員会と協議のうえ決定すること。
- (2) イベントの全体に係る運営及び総合管理を行うこと。
- (3) 企画にあたっては、障がいの有無を問わず来場者が楽しめるよう工夫すること。

4 出演者の招聘

- (1) 本業務の目的を達成しながら、当日のイベントの盛り上げを図るとともに、会場へのより多くの集客に繋がるよう、出演者の選定及び調整を行い、効果的かつ円滑に実施すること。
- (2) 芸能人や有名アスリート等、性別や年代を問わず、幅広い集客に繋がる人物を招聘すること。
- (3) ステージゲストとして、会場を盛り上げる歌やダンス等のステージ出演団体を招聘しても構わないこと。
- (4) 必要に応じて、会場を盛り上げ、スポーツについて見識が広い司会者を起用すること。

5 会場の設営、装飾及び撤去

- (1) 会場に応じて、スポーツをイメージした活気あるイベントとなるためのレイアウトやディスプレイを工夫すること。
※ 「いわて八幡平白銀国体」を紹介するブースの設置を盛り込むこと。
- (2) 来場者が容易に会場内配置を把握できるよう、表示を行うとともに、可能な限り、会場のバリアフリーに配慮すること。
- (3) 実施に必要な什器、備品及び消耗品の調達を行うこと。
- (4) 出展ブースの電気、給排水設備等の設置及び付帯するその他の工事等について関係団体等と調整を行うこと。
- (5) 会場使用に伴う安全確保義務を遵守すること。

6 新型コロナウイルス感染症対策

- (公財)日本スポーツ協会や岩手県が定めるガイドライン等に基づき、必要に応じ、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講ずること。

7 医療救護・会場警備の実施

- (1) 来場者に対する医療救護を行うこと。
- (2) 来場者及び出演者の安全を守り、イベントを円滑に運営するために必要な警備を行

うこと。

8 広報・宣伝の実施

県民の参加・おもてなし機運が十分に高まるとともに、当日の集客に繋がるよう、効率的かつ効果的な広報・宣伝を企画し、運営及び管理を行うこと。

9 イベント保険への加入

来場者の怪我や事故等が発生した場合や悪天候等により設置物の撤去・再設営が発生した場合に備え、必要となる損害賠償保険の加入など、イベント全体に係る補償対策を講ずること。

10 記録

実行委員会の指示により、本業務の実施状況について、広報・記録用の写真を撮影すること。

11 関係団体等との調整

実施に際して必要となる会場管理者ほか関係団体等との調整を行うこと。

12 その他

仕様書別紙「V都市装飾物品の作製・設置」2(4)県庁前カウントダウンボードの設置(張替え)にあたり、お披露目セレモニー(9月下旬頃)の企画・運営及び管理を行うこと。

以上に掲げる業務のほか、本催事の実施に関し必要な業務を行うこと。

V 都市装飾物品の作製・設置

1 目的

- (1) 日本最大の国民スポーツの祭典である国民体育大会(国体)に相応しい雰囲気醸成
- (2) 来訪者の高揚感を醸成する空間の創出

2 概要

次により、八幡平市内及び県内に設置する都市装飾物品の作製、設置、管理及び撤去を行うこと。

(1) 都市装飾

ア 装飾物の掲出

次に掲げる設置場所を参考に、装飾物品(横断幕やのぼり旗を想定)を作製し、最低4ヶ所以上に設置、管理及び撤去を行うこと。

- 盛岡駅
- いわて花巻空港
- 東北自動車道 岩手山サービスエリア(上り・下り)

※ 予算の範囲内で、より効果的な提案を認める。

イ 装飾物品の作製

品名	数量	規格等
のぼり旗	1,000枚 以上	サイズ:600mm×1,800mm 印刷:片面フルカラー 材質:防炎ポンジ 仕様:三方縫製・チチ付き

※ 詳細な納期については、実行委員会と調整のうえ、決定する。

(2) 写真撮影スポット(移動式)の設置・管理

各都道府県選手団の大会参加記念と岩手県PRのための移動式のフォトスポットを設置すること。

※ 八幡平市内で冬期間運行しているボンネットバスをフォトスポットとすることを想定しているもの。

- ① 設置場所 八幡平市総合運動公園体育館前
- ② 設置日 令和5年2月17日(金)午後
- ③ その他 令和5年2月17日(金)午前、2月18日(土)終日においては、各競技会場に移動して設置すること。

(3) 写真撮影スポット(常設)の作製・設置・管理・撤去

各都道府県選手団の大会参加記念と岩手県PRのための常設のフォトスポットを設置すること。

- ① 設置場所 安比高原スキー場、田山クロスカントリーコース、田山スキー場
- ② 設置時期 11月中旬頃(開幕100日前)

(4) 県庁前カウントダウンボードの設置(張替え)・管理

ア デザイン 実行委員会と調整のうえ、決定する。

イ 設置予定時期 9月下旬頃(日本スポーツマスターズ2022岩手大会終了後)

※ 天候その他の事由により、実行委員会が撤去を要すると判断した場合には、一時的な撤去及び再設置等を行う場合があること。

[のぼり旗のイメージ]



[ボンネットバスのイメージ]



[写真撮影スポットのイメージ]



[県庁前カウントダウンボードのイメージ]



VI 歓迎・おもてなしの企画・実施

1 目的

- (1) オール岩手での大会おもてなし機運の醸成
- (2) 大会期間中に来県される選手・観戦者等の満足度の向上

2 概要

(1) 大会リーフレットの作製

大会に参加する各都道府県選手団等に本県の魅力を発信するためのリーフレットを企画し作製すること。

品名	数量	規格等
大会リーフレット	3,000枚	サイズ:A3判2つ折り 印刷:両面フルカラー、用紙:マット90kg相当

(2) 歓迎・おもてなし物品の作製

ア 各都道府県選手団・大会関係者用

- ① 大会に参加する各都道府県選手団等を歓迎・応援・おもてなしするための物品を企画し作製すること。
- ② 物品の作製にあたっては、いわて八幡平白銀国体公式ポスターのデザインや規定書体を活用すること。
- ③ 下表(作製必須アイテムを除く)に掲げる例示を参考に、最低4種類以上を作製・購入すること。
- ④ 予算の範囲内で、より効果的な提案を認める。

品名	数量	規格等
蛍光ペン	3,000本	パイロット フリクションライト相当 名入れインクジェット印刷
ホッカイロ	3,000個	紙ラベル封入タイプ ラベルカラー印刷
クリアファイル	3,000枚	A4判格納サイズ 両面カラー印刷
ステッカー	5,000枚	サイズ:148mm×100mm 印刷:片面フルカラー 仕様:11分割程度

イ 県民・八幡平市民用

- ① 大会に参加する各都道府県選手団等を歓迎・応援・おもてなしするための物品を企画し作製すること。
- ② 物品の作製にあたっては、いわて八幡平白銀国体公式ポスターのデザインや規定書体を活用すること。
- ③ 大会期間中に選手や関係者が利用するレンタカー、宿泊・観光施設、飲食店等で掲出できる三角ポップ、ステッカー、卓上のぼり旗等について、最低3種類以上を作製すること。
- ④ 作製数量については、掲出先等を検討したうえで、大会に参加する各都道府県選手団等に歓迎・応援・おもてなしが十分に伝わる個数とすること。

⑤ 予算の範囲内で、より効果的な提案を認める。

(3) 復興情報発信に関する企画・運営・管理

次により、東日本大震災津波からの復興情報の発信に関する企画・運営・管理を行うこと。

ア 発信方法

各競技会場(安比高原スキー場、田山クロスカントリーコース、田山スキー場)並びに開始式・表彰式会場(八幡平市総合運動公園体育館)において、動画上映やパネルを用いた展示等を行うこと。

イ 視点

本県を訪れる人々に対して「復興支援への感謝」「復興の歩み」「復興の姿」を伝えながら、震災記憶の風化防止に寄与すること。

ウ その他

東日本大震災津波伝承館(陸前高田市)等の県内震災伝承施設や震災遺構を周遊してもらえるような仕組みも盛り込むこと。

3 納品

詳細な納品方法(ノベルティの袋詰め作業含む)及び場所については、契約締結後、実行委員会と調整のうえ、決定する。

[蛍光ペンのイメージ]



[ホッカイロのイメージ]



[クリアファイルのイメージ]



[ステッカーのイメージ]



Ⅶ 広報の企画・実施

1 目的

- (1) 大会開催に向けての機運の醸成
- (2) 各競技会場への来場促進(観戦者向け)
- (3) オール岩手での大会おもてなし機運の醸成
- (4) 交通情報の徹底した事前周知(観戦者向け)

2 概要

(1) 機運醸成・来場促進

ア 内容

- テレビ、ラジオ、新聞その他媒体を活用した十分な広報
- チラシの配架(20,000枚程度を想定)による十分な広報

イ 対象地域

岩手県内

(2) おもてなし機運の醸成

ア 内容

歓迎ポスターの作製・掲出(6,000枚程度を想定)

イ 掲出箇所

八幡平市内を中心に、選手・関係者のゲートウェイとなる県内の主要駅・空港・高速道路サービスエリア等を想定

(3) 交通情報の周知

上記(1)と同様(上記(1)と併せた展開も可とする。)

(4) 上記(1)～(3)における共通事項

ア 大会当日まで継続的に応援機運が十分に高まるとともに、選手・関係者を含む来訪者へのおもてなしに繋がるような工夫についても検討すること。

イ 大会の規模を鑑み、インパクトのある広告の実施についても検討すること。